

未来のクルマに貢献する 日本製鉄グループ

次世代自動車といわれる電気自動車や燃料電池車は、走っているときCO₂をまったく排出しません。しかし、航続距離を伸ばさせるためには、車体の軽量化、駆動モーターや駆動バッテリーの高性能化、水素ステーションの整備などが欠かせません。またクルマをつくる過程で排出されるCO₂を減らすことも重要になります。部品の製造から廃棄・リサイクルまでクルマのライフサイクル全体でカーボンニュートラルを考えると、鉄という素材は優れた特性を発揮することができます。日本製鉄は長年培ってきた鉄のチカラを活かして、カーボンニュートラルの実現に向け進化するクルマづくりを支えています。

特集 未来のクルマに貢献する 日本製鉄グループ

- 4 次世代自動車の普及は
車体の軽量化がカギを握っている
大聖 泰弘氏（早稲田大学名誉教授）
- 8 走行時のエネルギー効率を高める
鉄のテクノロジー
クルマの未来を支える 先進ハイテン
電動車の走行駆動モーターに欠かせない
無方向性電磁鋼板
- 14 自動車部品をつくる時のエコロジー
棒線エコプロダクツ[®]
- 18 駆動バッテリーの性能を高める
日本製鉄グループのテクノロジー
- 20 水素ステーションをつくるテクノロジー
Smart Fuel[®]

- 24 会長対談
公智・公德を身につけた人材が
日本の豊かな未来を切り拓く
清家 篤氏（日本私立学校振興・共済事業団理事長）
進藤 孝生（日本製鉄(株)代表取締役会長）

- 32 日本製鉄グループのSDGs
CO₂を炭素資源と捉えて
カーボンリサイクルを推進

- 34 News Clip
日本製鉄グループの動き

日本製鉄株式会社 広報誌 季刊 ニッポンスチール
Vol.12 2022年4月22日発行
〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
TEL.03-6867-4111 <https://www.nipponsteel.com/>

編集発行人 総務部 広報センター所長 有田 進之介
企画・編集・デザイン・印刷 株式会社 日活アド・エイジェンシー

●本誌掲載の写真および図版・記事の無断転載を禁じます。
●本誌で記載されている機械特性はあくまでも参考値であり、これを保証するものではありません。
●ご意見・ご感想は、WEBもしくは綴じ込みはがきでお寄せください。